

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	KID ACADEMY + 山科校			
○保護者評価実施期間	R7年 12月 3日		～	R7年 12月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数)	34
○従業者評価実施期間	R7年 12月 3日		～	R7年 12月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 12月 28日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様の発達特性やご家庭のニーズを踏まえた個別支援計画を策定し、カリキュラムの見直しや進捗状況の共有を継続的に実施	保護者との面談の機会を定期的に設け、日常生活や成長過程での変化を丁寧に把握しながら、支援内容の調整や保護者の不安軽減につながる関わりを実施	支援の質向上を目的として、職員の研修機会の拡充を進める。今後は指定権者主催研修に加え、オンライン研修や他分野の研修、他事業所の見学・勉強会等への参加を促進し、職員が継続的に学べる体制構築を実施
2	保育園・幼稚園等の関係機関と情報共有を行い、日常生活や集団場面を見据えた連携体制構築	個別支援計画の作成にあたっては関係機関と情報共有を行い、多面的な視点からカリキュラムの検討や進捗の確認を行うことで、継続的な改善（PDCA）が機能する体制構築を図る	地域における支援体制の強化を見据え、医療機関や子育て支援関係機関等との連携を一層深め、情報共有や協力関係の構築を進めることで、子どもと家族を包括的に支える仕組みづくりを目指す
3	ご家庭の生活環境や送迎ニーズに配慮し、保護者負担の軽減につながる送迎体制の整備	幼稚園・保育園との連携を重視し、園での活動や行事への参加が円滑に行えるよう、必要に応じて送迎日や時間の調整を行い、子ども・家庭・関係機関それぞれに過度な負担が生じない支援を推進	送迎対応に限らず、家庭状況に応じた支援時間の調整が円滑に行えるよう、ICTを活用した連絡手段等の整備を検討し、保護者との情報共有の質向上を図る

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	医療的視点を踏まえた支援の充実に向け、地域医療機関との連携や情報共有の仕組みについて、より体系的な関係構築が求められている	医療機関との連携については、利用者が通院している医療機関と情報共有を行い、家族と相談しながら言語面・運動面等の支援内容をカリキュラムに反映できている一方、連携の方法や範囲については、今後さらに整理・発展させていくことが必要不可欠	地域連携を更に充実させるとともに、専門領域の異なる医療機関とも情報交換の機会を設け、支援内容の幅と専門性の向上を図る
2	就学期における支援の継続性を高めるため、小学校や特別支援学校（小学部）等との情報共有や相互理解について、より早期・計画的な連携体制の強化が求められる	事業所の開所からの期間が比較的に短いため、地域内の小学校や特別支援学校（小学部）との関係構築が発展途上の段階にあり、継続的かつ計画的な連携強化が今後の課題	就学期を見据え、保護者との事前面談を早期段階から計画的に実施することで、学校・関係機関との情報共有を円滑に行える体制を整え、家族を含めた中長期的な支援に繋げる
3	大規模自然災害等の非常時を想定した対応体制や、保護者・関係機関への情報発信方法について、さらなる整理・明確化が必要不可欠	地域内の小学校や特別支援学校（小学部）との連携については一定の取組を行っているが、支援の継続性を高める観点から、今後はより計画的・組織的な関係構築が必要	BCPIについては、実情に即した内容とするため、外部機関の知見を取り入れながら随時見直しを行い、職員が具体的な行動をイメージできる実践的な計画へと改善を図る